



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs  
Chartered : 10 May, 1961

# 東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center  
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20  
東京YMCA東陽町センター内  
TEL 03-3615-5565

2019年7月 ~ 2020年6月

会 長 今井 武彦  
副 会 長 森本 晴生  
直前会長 城井 廣邦

国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」  
アジア会長主題 「アクション！」  
東日本区理事主題 「勇気ある変革, 愛ある行動！」  
東新部部長主題 「心を尽くして青少年YMCAのために。」

書 記 鈴木 健彦  
会 計 高津 達夫  
担当主事 星野 太郎

## 2019年 8月本例会 (690回)

( 強調月間 CS )

### 今 月 の 聖 句

わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。  
(ヨハネ11-25)  
He who believes in me, though he die,  
yet shall he live. (JOHN 11-25)

### 東京YMCA夏まつりに参加しよう!!

日 時 8月24日(土) 11時30分~15時30分  
場 所 東京YMCA東陽町センター

### 8 月 本 例 会

日 時 2019年8月18日(日) 18:30-20:30  
場 所 東京YMCA野尻キャンパス きつつきハウス  
TEL 026-258-2708/FAX026-258-2091  
会 費 2,500円

### 8 月 CS について

Community Service の略。  
大きくは地球社会、又小さくは地域社会隣人への奉仕活動をYMCAと共に展開する実践活動です。当クラブでは「川口こども食堂」、「四ツ谷駅前寄席」の支援を行っています。お年玉年賀はがき当選切手の寄付は資金源の一つです。(長谷川 記)

### HAPPY BIRTHDAY

8月1日 高津 達夫 8月27日 長谷川正雄  
8月27日 長谷川和子  
結婚記念日おめでとう  
該当者なし

### 8月本例会プログラム

準備	参加者全員
受付	高津 達夫
司会	神保伊和男
開会点鐘	会長 今井 武彦
ワイズソング	一 同
ゲスト・ビジター紹介	司 会
今月の聖句・感謝	高津 達夫
楽しい食事	
乾杯	PP GIRLS
楽しく歌おう!!	星野 太郎
	田下 昌人
強調月間アピール	高津 達夫
ハッピーバースデー・結婚記念	司 会
スマイル	城井 廣邦
諸報告	各担当者
閉会挨拶	神保伊和男
閉会点鐘	会 長 今井 武彦

### 2019年 7 月 の 記 録 (\*累計は期初からの24累計)

会 員 出 席 状 況		メーキャップ記録 名		スマイル	10.700 円
正 会 員	12 名	出席(メネット)	0 名	鈴木健彦 7/16子ども食堂	BFポイント 現金累計 0 円
功 労 会 員	1 名	出席(コメット)	0 名	城井廣邦 7/2印刷会	切手累計 0
在 籍 者 数	13 名	出席(ゲスト)	0 名		
出 席 (正 会 員)	8 名	出席(ビジター)	4 名		リングプル 累 計 632.98 Kg
出 席 (功 労 会 員)	1 名	例会出席総数	13 名	月出席率 83%	むかで基金 今月分 20.700 円

会費振込先 みずほ銀行 亀戸支店 (普通) 3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

## 7月本例会報告

東京むかでワイズメンズクラブ7月例会（第689回）は、2019年7月16日（火）午後6時30分より、東京YMCA東陽町センターのTYISカフェテリアで開かれました。

伊丹一之君の司会、今井武彦新会長の点鐘でスタート。全員でワイズソングを英語で斉唱。

司会によるビジターの紹介では、小川圭一東新部部长、太田勝人部書記・エクステンション委員長、村野繁会員増強事業主査、張替滋夫ユース事業主査・部大会副実行委員長が紹介されました。



その後、長谷川正雄クラブ監事の司式、小川部長の立ち合いの下で、今井会長の会長就任式が厳かに行われました。【写真上】

そして、今月の聖句と感謝を星野太郎主事が行い、楽しい食事となりました。ビジターからは、むかでクラブのお弁当が一番おいしいとのお褒めをいただきました。



食後は、部長公式訪問ということで、小川部長【写真左】から次のような言葉をいただきました。「阪神淡路大震災の募金活動を、当時PTA会長をしていた明治学院中高生が行ったことから、YMCAとワイズメンズクラブに繋がり、夫婦で洗礼も受け、2度目の部長を引き受けることになりました。

むかでクラブは、世田谷クラブの寺門君を心酔させたシニア・キャンプで素晴らしい成果を上げているので、これからもよろしくお願ひします。」と激励を受けました。

引き続き、部役員の方からもアピールをいただきました。

新任の今井会長から、次のような方針が語られました。「運営方針は、『折がよくても、悪くても励もう』

～淡々と種をまき続けよう～。

事業の持続には、『出来る人が、出来るときに参加し、支えていきたい』。

具体的事業計画は、①野尻学荘への支援活動 ②川口こども食堂への支援活動 ③シニアY・Y・Yキャンプの継続事業 ④東京YMCA東陽町センターの活動事業支援 ⑤桜新町駅寄席の事業支援協力 ⑥DBC神戸ポートクラブとの交流事業推進 ⑦例会のあり方再検討とYMCAとの連携強化。

そして、最後に、「メンバー皆さんが、幼子のように固定観念にとらわれず、自由な発想に基づき、それぞれの担当事業を運営していただきたい。」と語りました。

むかでの会員からも一言抱負をいただきました。

櫻井：シニアになったので、毎月は出席できない。

吉田：友人を最適なクラブに紹介することが大切。

高津：赤字会計のやりくりとYMCA祭りへ協力を。

長谷川：監事としてクラブの方向性に注視してほしい。

星野：YMCAにも貢献する今井会長を助けていきたい。

森本：自立するためにはゆっくり立ち座りすること。

神保：興望館100周年の寄席にむかでから応援を。

伊丹：東新部ヒストリアンとChange!2022の広報担当。

高津達夫君から7月の強調月間アピールと前年度のむかで会計の監査報告がありました。ハッピーバースデーは小川部長に歌をプレゼント。スマイルは神保君が担当し10,700円。諸報告では、会長からむかで野尻ファミリーキャンプのアピール、星野主事から野尻学荘が50名に迫る勢いで推移しているとの報告。

閉会のあいさつを森本副会長が述べ、今井会長の閉会点鐘で7月例会を閉じました。（伊丹 記）

出席者：今井、伊丹、櫻井、神保、高津、長谷川、星野、森本、吉田

ビジター：小川圭一部長（東京世田谷）

太田勝人部書記（東京町田スマイリング）

村野繁会員増強事業主査（東京世田谷）

張替滋夫ユース事業主査（東京世田谷）

## 2019-2020年度 東新部第1回評議会報告

2019-2020年度、東新部第1回評議会は、7月13日（土）13時00分～14時30分、東京YMCA山手センター1階で、35名が出席して開催されました。

太田勝人書記が司会を務め、小川圭一部長の開会点鐘、ワイズソング、聖書・祈禱、ついで伊藤幾夫監事による部旗・部長印引継式、小川部長による部役員就

任式が行われました。

次いで、小川部長が挨拶と主題「心を尽くして、YMCAのために」の所信表明が行われ、定数確認後、議案審議を行いました。特に、評議会に合せて部報第1号が発行されるという画期的なスタートでした。

主な審議事項としては、

- 1.2018-19年度第3回評議会記事録の承認・2018-19年度会計決算報告、2018-19年度会計監査報告、
- 2.2019-20年度修正予算案、次々期部長・次期監事候補者指名委員会委員委託は、神保直前部長他5名を承認、2020-21年度部大会準備委員長委託は、加藤義孝次期部長一任。以上、承認されました。

報告事項としては、

- 1、2018-19年度東日本区第4回役員会報告、区年次代議員会報告、当期第1回役員会報告がなされた。
- 2.2018-19年度クラブ評価会報告が神保直前部長からなされ、5クラブにCS推進賞として各金1万円授与。
- 3.部大会は、10月12日(土)銀座ライオンの確認、以下各事業報告・活動報告、各クラブ活動報告、YMCA報告、その他に、今井会長より、東日本区からの各クラブの会員増強手段としてのSNS活用推進について質問があり、諸々の意見交換が行われたが、執行部預かりとなり、明確かつ具体的な対応まで至らなかった。

最後に、監事講評、「東新部の歌」合唱、閉会点鐘で、第1回評議会は終了致しました。(高津記)

出席者：今井、鈴木、神保、高津

## 「川口こども食堂」報告

7月16日川口こども食堂は、新しく建築された岩の上教会とともにリニューアルされ、ベーカリージローからBETHLEHEMと名前を変えたパン屋さんの店内で開かれた。

参加者は中学生から保育園児までの17名の子供と大人5名、スタッフ5名であった。献立はスパゲティーミートソース、サラダとデザートつき、食事はおいしくお代わりをする子供達が絶えなかった。食後は店内や礼拝所でゲーム等をして楽しげに帰っていった。昨年まで川口こども食堂をお手伝いいただいた近くの教会でも新しく子供食堂が開設された。

むかでクラブからの参加者は、丁度、むかでクラブ例会日と重なったこともあり鈴木健彦1人であった。次回の開催日は同場所で8月6日、27日の両日です。(鈴木 記)

## 7月第二例会報告

7月第二例会は、23日(火)午後6時30分から東京YMCA東陽町センター1階TYISカフェテリアで開催されました。主な協議事項は下記の通り。

1. 定例のブリテンの構成、執筆者、編集者の検討がおこなわれた。

2. 東京むかでワイズメンズクラブが8月に定例行事として行っている、野尻ファミリーキャンプの参加者の確定、内容の検討がなされた。特にファミリーキャンプ内でもようされる定例会の卓話者について検討され、今回は、星野主事や田下昌人氏によって結成されるむかでミュージックグループによる音楽例会を野尻ファミリーキャンプで開催されることになった。

3. 今回各ワイズメンズクラブが行おうとしている、個々のクラブの活動内容を一般の方々に向けてSNSやフェースブックで発信しようという試みについてである。メンバーからは、内容の更新や、各クラブでやれるのかとか多くの疑問がだされた。しかし、伊丹君が、月々の活動で常に新しい写真を更新できるので更新内容には困らない、是非やろうとの提案があり、伊丹君担当で始めることになった。

4. 四ッ谷寄席について検討された。四ッ谷寄席は四ッ谷から桜新町に場所を移して開催することを検討していたが、我々のメンバーである主催者の体調がすぐれずしばらく延期される見通しである。1日もはやくお元気になれることを願っています。

5. 神保君から東京北クラブが支援している興望館設立100年を記念して行う寄席に東京むかでワイズメンズクラブも共同主催をしないかとの提案があった。東京むかでクラブは寄付金をだすことで対応。

(鈴木 記)

出席：神保、長谷川、鈴木、今井、星野、伊丹、高津

## 東京YMCA 夏まつり案内

今年の東京YMCA「夏まつり」は、8月24日(土)11時30分～15時30分、東京YMCA東陽町センターで開催されます。

当クラブは、昨年同様、アトリウム(こどもコーナー)での模擬店「かき氷」です。「かき氷」は、子供たちが集まる場所がアトリウム中心とのことで、暑い場所になりますが、皆様のご協力の程宜しくお願い致します。

かき氷は、100円で、250～300食の販売を予定しています。個数は、天候が影響すると思います。シロップは、イチゴ、メロン、オレンジ、ブルーハワイ、コーラ等を準備しています。

当日は、10時30分集合。各自エプロン、タオルをご持参ください。(高津記)

## 会長通信

新約聖書マルコによる福音書2章22節「だれでも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりもしない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もダメになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。」

わたしたちのクラブは、7月から会長、副会長、会計ほか事業推進担当者が交代しました。新しい担当者は、新しいぶどう酒！ 新しく担当した事業は、新しい革袋！

それぞれの方々が、過去にとらわれず、自分に合ったやり方で担当の役目・事業を推進してください。

8月は、野尻ファミリーキャンプ、YMCA夏まつり、川口こども食堂等が行われます。それぞれの方の持ち味を生かして、リーダーシップを発揮していただき、事業を進めましょう。

(今井 記)

### <8月の予定>

- 6日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 6日(火) 多摩みなみ・8月本例会
- 8日(木) 東京センテナル・8月本例会
- 13日(火) 東京・8月本例会
- 16日(金) 東京世田谷・8月本例会
- 17-19日(土-月) 野尻ファミリーキャンプ(野尻湖)  
日本時間:14時集合
- 18日(日) 東京むかで・8月本例会
- 21日(水) 東京町田スマイリング・8月本例会
- 24日(土) 東京YMCA夏まつり(東陽町センター)
- 24日(土) 東京町田コスモス・8月本例会
- 27日(火) 東京むかで・第二例会

### <9月以降の予定>

- 2・日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 16日(日) 東京むかで・9月本例会
- 23日(火) 東京むかで・第二例会

## 東京YMCAニュース

◆第33回インターナショナルチャリティラン  
今年も9月に恒例のチャリティランを開催します。

「Love on the Run」をスローガンに障がいのある子どもたちを支援します。チームによる参加、チームのスポンサーとしての参加、支援金・物品寄付で参加、運営ボランティアで参加、様々な参加方法があります。

ぜひ今年もご協力をよろしくお願いいたします。

【と き】2019年9月23日(月祝) 10:00~14:30

【ところ】都立木場公園

※ラッフル大会の賞品提供にご協力お願いします；

### ◆第730回東京YMCA午餐会

図形音符(英語訳: shape notes)とは19世紀初頭アメリカで考案されたもので楽譜を読みやすくする為に一つ一つの音符を違う形で示した音楽教育の手段です。図形音符の発展と衰退はアメリカの歴史と文化に強く結びついています。今回はこの背景をもとに図形音符の誕生から近年の復活に至るまでの話を致します。また、最後は皆で歌って体験してみましょう。

【テーマ】「図形音符の歴史とアメリカ文化の背景」

【卓話者】Tim Cook氏

(医療創生大学英語教授)

【と き】2019年9月5日(木) 12:00~13:30

【ところ】東京大学YMCA(南北線 東大前駅0分)

【参加費】3,000円(昼食つき)

【申込み】賛助会事務局 sanjo@tokyoymca.org

(星野 記)

## 7月会計報告他

### 1. 月間収入・支出合計 期間 7/1~7/31

口座名	月間収入額	月間支出額
一般口	229,500円	129,069円
ファンド口	35,200円	25,000円

一般口主収入: 会費6名

一般口主支出: 会館使用料、例会弁当、懇親会

ファンド口主収入: 長谷川君、部CS推進、スマイル

ファンド口主支出: こども食堂支援、夏まつり支援、チャリラン東陽町支援

(高津 記)

### 2. リングプル 7月預かり

協力者名	重量	協力者名	重量
長谷川正雄氏G	0g		kg
吉田 司氏	25.0kg	今月合計	25.0kg

(神保 記)

## 編集後記

異常気象だとさわがれているうちにいつのまにか日常的に35度近くの夏が続くのが当たり前になり、それに関連して大雨が降り地球が必死にバランスをとろうとしています。我々の営みが暮らしの場を荒さず自分達自身を追い詰めないようにしたいものです。

(鈴木 記)

# 夏 休 み 特 集

## 1. 櫻井浩行寄稿

### アジア太平洋地域大会参加報告

2019年7月19日13:00より21日11:30まで、仙国際センターにて【第28回アジア太平洋地域大会】が開催された。

九州地方の豪雨の為に飛行機が飛ばず、西日本地区からの参加者に多少の影響があったようだが参加登録者783名と多くの参加者があり盛会であった。

田中博之地域会長を輩出した東新部の一人として参加できたことは幸いであった。

今大会のテーマ「Action!前へ進もう」とは仙台をはじめ東北地方を中心に被災した東日本大震災により、今も多くの方々が悲しみにあるものの、その被災者の方々が共に助け合い復興のために活動されている現状を直接見ることで、今後我々に何ができるのかを参加者一人一人が考え、行動に移していく願いを込めて企画された大会である。

大会は開会式より始まり仙台南高校音楽合唱団のコーラスで幕を上げた。

開会宣言、点鐘を田中地域会長、各役員の挨拶、祝辞を郡和子仙台市長。

国際会長就任式を司会・藤井寛敏元国際会長が行いジョニファー・ジョーンズ氏が新国際会長になった。

今回の講演「復興と防災の未来」は公開講演の為に一般の参加者が約70名、

第一部「東日本大震災から復興と防災への取り組み」村井嘉浩宮城県知事。2005年11月に県知事に当選で現在4期目。1960年生まれの59歳。11年の震災時より現在までの復興の経緯を詳しく映像を交えて説明された。彼は宮城県民の宝！といっても過言ではない素晴らしいリーダーであると思う。

第二部は「あなたと子供を災害から守る方法」講師は国崎信江氏（危機管理教育研究所代表）女性の立場と母親の立場に立って分かりやすく身近な事案に答えて話された。

お二人の公演はともに素晴らしく良い1日となった。

「IPAPナイト」は直前地域会長主催晩餐会で、着席の食事。今回初参加の我がメネットはマーシャルをかってでた為に朝9時より準備に入り主に英語圏の接客を担い、夕食の席だけ同席。無役の私は会場に座りゆっくりと雰囲気浸っていた。

明けて2日目はエクスカージョン。4つのコースの

中、1コース海岸線コース(仙台~荒浜~岩沼)に参加。青葉城跡から荒浜へ、ここは海岸の平野地区の小中学校跡、地区の津波避難所になっていて避難した人は助かり遅れた人は亡くなった。市の職員の説明を聞き当時のままの建物を保存し後世に伝えていくとのこと。続く岩間は荒浜と同じような地形、すぐ隣に仙台空港がある。街並みは全くなく災害指定地となり再度津波が来たときの為に高台をいくつか作り避難所にする「千年希望の丘」を見学。全国からのボランティアによる植林活動で後世に残す遺産進行中。「APナイト」は田中地域会長主催晩餐会。

第3日目、日曜礼拝、IBC締結式、国際表彰及び各種報告、第29回地域大会(台湾高雄)第74回国際大会(デンマーク)のアピール、閉会宣言・点鐘で閉会。

最後にメネットと仙台名物「牛タン焼き・喜助」を初日に、「塩釜すし哲」の鮨を帰る前に楽しみ、双方美味でした。

(むかで参加者：櫻井浩行、櫻井啓子)

## 2. 森本晴生寄稿

### 入院と退院と (2) 森本晴生

2016年10月、出張先の福岡で「くも膜下出血」を発症。福岡の病院入院1か月、その後帰京。

ところが、東京に戻って、1年少し経った早朝、自宅で倒れ、救急車で通院していた病院に搬送され、担当医のお世話になりました。

1か月してリハビリのためリハビリ病院に移り、そこで2か月間のリハビリの後、退院しました。

退院前、リハビリ担当の理学療法士から、社会活動に復帰するのなら、身の回りのことを自分でするようにし、歩くようにし、転ばぬように気を付けながら階段も使いなさい、などと助言されました。入院前は、毎日5千歩~1万歩を、3年前は1万5千歩を歩いていたので、腰を下ろした状態から、どこにも掴まらずに立ち上がることはできていましたが、これは一般的な病状ではなく、かなり回復している状況のようでした。

普段から歩いていなかったら、家の周りどころか、家の中も介助が必要となり、外出がしにくかったらろうと思っています。

できることと、できないことがあります。病気によるものと、年齢によるものがあります。毎日の生活で少しずつ対応していくのが良いように思っています。

(森本 記)